



宮城県北部教育事務所 指導班だより 令和4年12月8日(木) 第4号

学校訪問・公開研究会

令和4年度の北部管内全ての学校訪問と公開研究会が終わりました。

学校訪問は、一部の学校で臨時休業等による紙面指導や模擬授業等に切り替えて対応させていただきましたが、多くの学校で、授業を参観し、先生方との授業検討会に参加させていただきました。「分科会」では、「協働による授業づくり」、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」に力を入れたいという声が多く、先生方による充実した話し合いが行われました。昨年度は、初任層の先生方の授業を参観することが多かったのですが、今年度は幅広い年代の先生方、そして、国語・算数・数学に限らず、様々な教科等の授業を参観することができました。

公開研究会は、幼稚園3園、小学校5校、中学校2校が参集型と一部オンライン、紙上发表という形態で実施されました。特に、栗原市では、10・11月に築館中学校区と栗原南中学校区で栗原市学力向上指定校事業による公開研究会が行われました。市内の先生方の授業力向上を目的にし、平成29年度から秋田県大仙市へ教員を派遣し、算数・数学について研修を行うとともに、2年ずつ3期に分けて全小中学校を指定し、公開研究会を実施してきました。今年度は3期目の集大成として公開を行いました。「全員が分かる授業」を目指して、それぞれの児童・生徒の実態に合わせた手立てを設定し、生き生きと学ぶ姿を目にすることができました。講演会も開催され、事務所としましても勉強の機会をたくさんいただいたと感謝しております。

今年度の学校訪問等については、「令和4年度管内指導概況報告」として報告させていただきますので、ぜひ、次年度の教育計画等検討でご活用いただければと思います。



生徒指導担当者会

10月14日(金)、栗原市教育研究センターを会場に、管内小・中・義務教育学校生徒指導担当者会を実施しました。「小・中学校の連携を深め、諸課題解決のために実践的指導力の向上を図る」ことを目的として研修を行いました。全体会では、北部教育事務所の浅野良一主幹による研修1「管内の生徒指導の現状及びその対応」、あすなる法律事務所弁護士の鎌田健司先生による研修2「法的観点からみたいじめ問題」、加美町心のケアハウススーパーバイザー鈴木文也様による講話「『魅力ある学校づくり』推進事業について」の3つの講話を行いました。分科会では、中学校区毎に、生徒指導上の情報交換、諸問題を未然に防止する方策について話し合いました。各学校独自の「魅力ある学校づくり」に向け尽力いただければと思います。生徒指導担当の先生方の更なる活躍を期待し、教育事務所として今後も支援を継続してまいります。



初任研(1年目)「事務所研修4(一般研修②)」

11月1日(火)、栗原市教育研究センターを会場に、管内小・中・義務教育学校初任者研修(1年目)「事務所研修4(一般研修②)」を実施しました。前半は、栗原市立鶯沢幼稚園主幹の神崎直人先生による講話「幼稚園の学級経営(環境構成と援助の在り方)」についてを行いました。神崎先生からは、幼児の成長を支援する際のきめ細かな配慮の行き届いた環境構成や、幼児の活動の理解者としての役割の大切さ等をお話いただきました。後半の分科会では、「日頃の学級づくりを振り返って」をテーマとして、グループ協議を行いました。学級づくりや授業づくり、子供との接し方や保護者の対応等について、日頃の悩みや疑問点を話し合い、共有しました。「初心忘るべからず」という言葉があるように、教員1年目としての今の気持ちをいつまでも忘れることなく、謙虚な姿勢と感謝の気持ちを持ち続けながら、これからの教員人生を歩み続けてほしいと願っています。



教務主任等研修会

11月10日(木)、大崎合同庁舎を会場に、管内小・中・義務教育学校教務主任等研修会を実施しました。研修1では、北部教育事務所の武田純子次長が「教育課程の編成及び実施上の留意点について」の講話を行いました。研修2では、大崎市立古川中学校主幹教諭の佐々木和夫先生に、「古川中学校の働き方改革」と題して実践発表をしていただきました。分科会では、中学校区毎に、「教育課程の編成及び実践についての情報交換」を行いました。教務主任の先生方のアンケートからは、「働き方改革に向けてできることを精査し、できることから始めたいと思う。」「働き方改革は、保護者も交えて、学校全体で取り組む必要があると感じた。」等、情報交換での話し合いの内容等も含めて、とても有意義な研修会であったことがうかがえました。ワークライフバランスを考えた、仕事の在り方について、再考するよい機会となりました。子供たちだけでなく、教員にとっても「魅力ある学校づくり」の構築に努めてほしいと願っています。



中堅教諭等資質向上研修科「実践研修3」

12月2日(金)栗原市教育研究センターを会場に、管内小・中・義務教育学校中堅教諭等資質向上研修「実践研修3」を実施しました。午前は、NITSの動画(道徳科の評価及びカリキュラムマネジメント)を視聴した後、持参したレポートを基にして、情報交換が行われました。午後は、法遵守についての事例を基にして、グループ協議を行いました。参加者のアンケートの結果からは、「道徳の授業づくりのヒントだけでなく、校種や学校規模の違いによって多様な取組がなされていることについて、とても参考になった。」「職員室で話しやすい人間関係を作ることが大切だ。」との意見がありました。今後も、各学校の中核的存在として、率先して教育活動に当たっていただくことを期待しております。

